

教科目名 独語 (German)

学科名・学年 : 5年 全学科

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間45時間)

担当教官 : 峯本 敏男

授業の概要		
4年次で修得した初級ドイツ語の基礎力を更に高め、中級ドイツ語に到達させるための総合力の養成を第一目標とする。そのため、初級独作文の練習で基本的な構文力をつける一方、会話テキスト等を利用してドイツ語の表現力を高め、コミュニケーションとしてのドイツ語能力を養成する。同時に、幅広い異文化理解によって、ドイツや外国に対する知識や国際理解を深めることも目指す。		
到達目標		大分高専目標(C1), JABEE目標(f)
(1) ドイツ語の発音が正確に出来るようになること。 (2) ドイツ語文法の基礎を修得し、初級会話が出来るようになること。 (3) 簡単なドイツが読み書き出来るようになること。 (4) 独検(ドイツ語技能検定試験)3級合格が可能なドイツ語力をつけること。		
回	授 業 項 目	内 容
1	1. 中級文法 接続詞	三種類の接続詞の用法を学び、最も重要な従属接続詞と副文の用法を習得する。
2	ZU不定詞	ドイツ語の不定詞構文を学び、意味と用法を練習する。
3,4	関係代名詞	関係代名詞の性・数・格の用法を学び、関係文の構造を理解し表現練習を行う。
5,6	受動態	受動の基本構文を学び、時制や意味と用法を理解する。
7	前期中間試験	
8	前期中間試験の解答と解説	理解の程度を確認、自己分析と補足説明を行う。
9	接続法	接続法の形態と意味を理解し、間接話法、非現実話法、外交話法の用法を学ぶ。
10, 11 12, 13	2. 基本独作文演習	初級文法の復習、基本語彙の練習を通して簡単な日常表現を作文によって学ぶ。
14	前期期末試験	
15	前期期末試験の解答と解説	理解力の確認と分析、不明事項の補足説明を行う。
16, 17 18, 19	3. 基礎会話・表現演習	パートナー練習、発音練習、日常会話表現の練習を行う。
20, 21	4. ドイツ語講読	読み物、短編小説等の講読演習によって読解力を養成する。
22	後期中間試験	
23	後期中間試験の解答と解説	理解力の確認と分析、補足説明および授業を行う。
24	ドイツ語講読	読み物、短編小説等の講読演習によって読解力を養成する。
25, 26	5. 文章作成演習	手紙、自由作文等の演習によって文章力を養成する。
27, 28	6. 総合表現演習	自由テーマで2分間スピーチによる口頭発表を行う。
29	後期期末試験	
30	後期期末試験の解答と解説	理解力の確認と分析、不明事項の補足説明を行う。
履修上の注意	週の授業時間数が少なく内容が4年次よりも高いため、常に自発的な基本文法の復習が必要であり、授業においても集中し、発話練習等にも積極的に参加することが重要である。また、独和辞典や参考書の活用も有益である。また、定期試験だけではなく課題レポート等にも真剣に取り組むことが肝要である。「継続は力なり。」	
教科書	4年次の教科書「入門ドイツ語コース」を引き続き使用。その他、プリントや雑誌等も利用する。	
参考図書		
関連科目	独語I, 英語	
評価方法	定期試験の成績(80%), 小テスト・課題レポートの提出(20%)により評価する。また、欠課時数および授業態度により評価点よりその20%を上限として減点するものとする。	